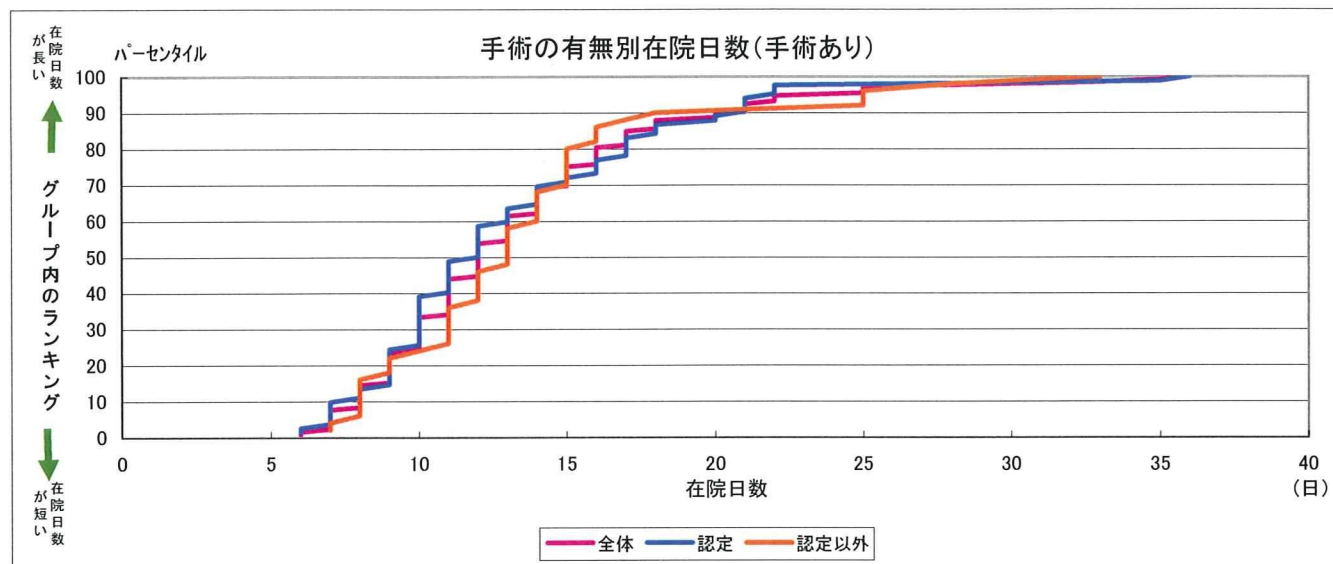
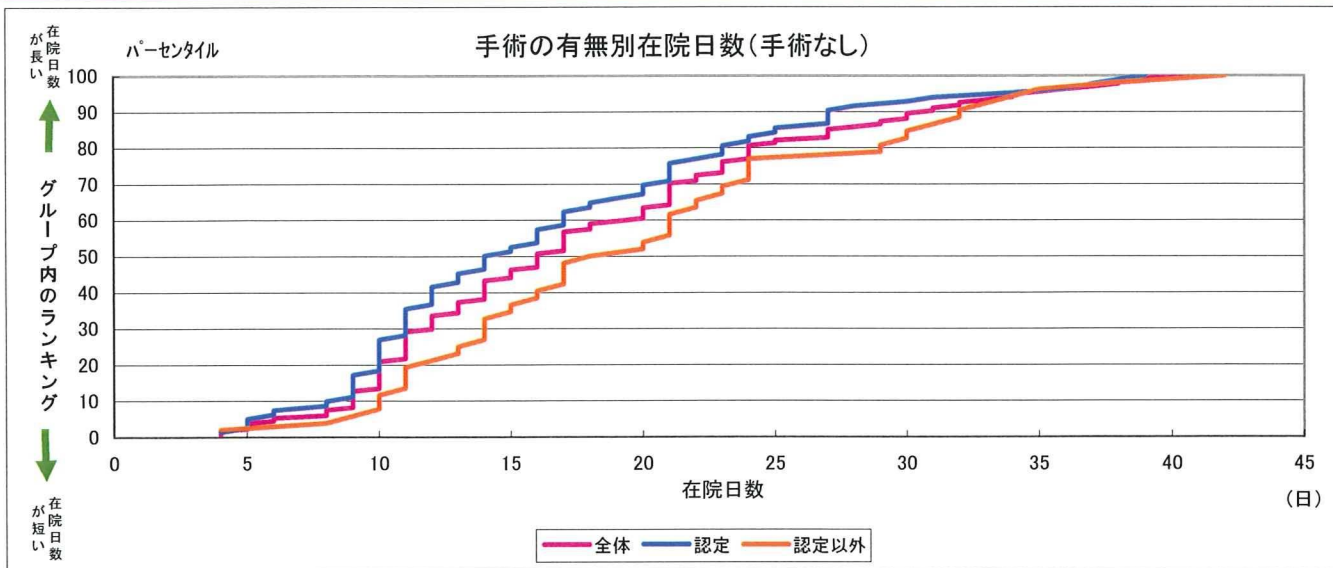


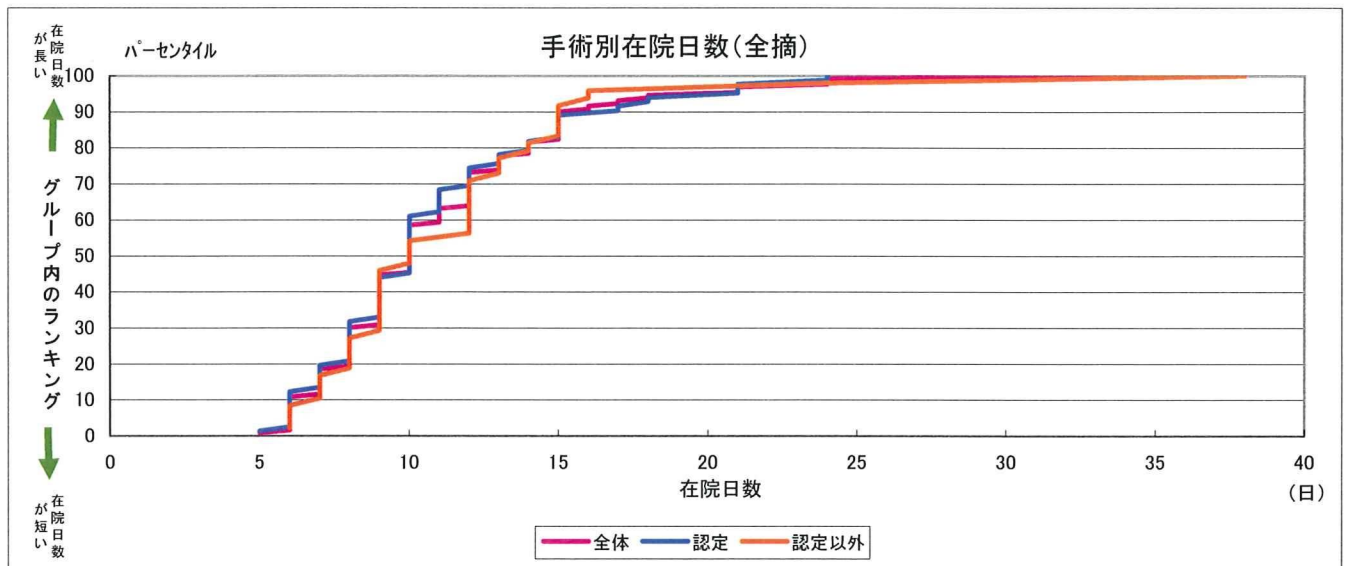
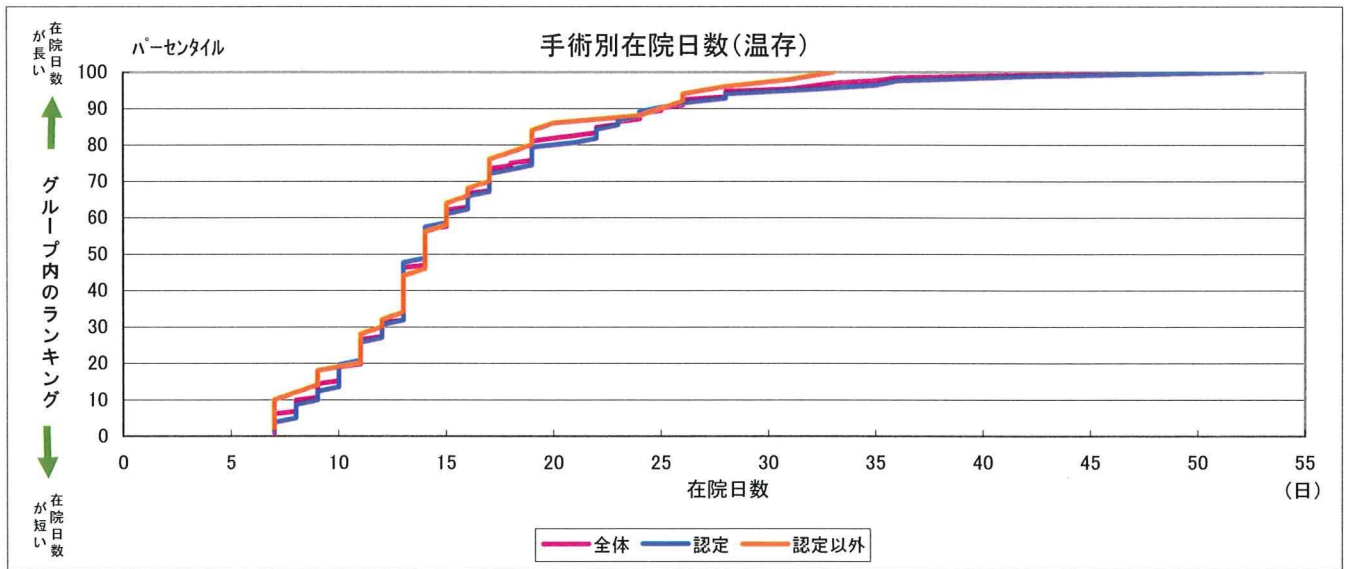
手術の有無別在院日数



※あなたの病院の具体的な数値は前頁の表でご確認いただき、上記グラフの位置づけをご確認下さい。

※解析の対象となった症例数が年間20未満の施設はグラフに表示していません。

手術別在院日数



※あなたの病院の具体的数値は前頁の表でご確認いただき、上記グラフの位置づけをご確認下さい。
 ※解析の対象となった症例数が年間20未満の施設はグラフに表示していません。

1入院あたりの医療費の分布

日本乳癌学会認定・関連施設

単位: 万円

病院	Stage別				手術別			
	0	I ~ II	III	IV	なし	手術あり※	温存	全摘
A2		98	40	69	34	87	83	90
A3	76	84	81	71	47	78	82	76
A4					41	56	73	53
B1					37	67	81	63
B2				96	66	72	78	67
B4					78	72	115	64
B6				4	39	60	61	58
B9	52	53	40	65	30	71	76	68
B10	44	47	55	87	74	47	49	46
B11	79	67	29	70	76	76	55	82
B12	64	67	70	107	61	73	78	71
B13					20	66	74	50
B15	43	63	24	66	84	59	89	51
B16					45	69	80	63
B20					32	81	84	69
B22		60	54	68	84	62	64	60
B25					95	101	110	97
B26		61	73	88	66	94	134	70
B27					45	71	75	67
B28	13	59	58	76	63	79	82	76
C2					94	71	73	68
C4					40	74	78	72
C6					19	81	89	65
C8					21	133	154	91
C9					26	92	106	78
C10					68	88	98	80
C18	47	47	236	73	62	56	62	50
D2					115	87	114	69
D3					91	177	259	67
D4					121	79	78	81
D7					54	60	67	57
D8				70	44	67	80	54
D9	50	62	61	127	94	64	71	59
D10					23	69	70	68
D11		165			97	105	105	109
D12	49	62	86	108	103	69	94	57
D14		66	47	85	72	71	76	67
D15					51	78	82	74
D16		75			56	65	76	61
D21	53	65	71	108	108	64	72	63
D23					33	81	101	64
D24					44	64	64	65
D27					43	93	102	86
D29					79	66	76	59
D31					48	102	102	104
D32		58	179	72	69	67	84	59
D33		64	31	26	58	79	84	67
D34		31	39		35	70		70
D36					82	91	94	87
D37					66	82	102	76
D38					47	71	72	70
D39					20	84	95	78
D41	57	64	75	69	64	73	102	57
D42		55	65		46	56	58	55
D43					67	63	63	64
D45					37	67	68	66
D46		62	70	91	58	60	56	61

※ 温存あるいは全摘

1入院あたりの医療費の分布

日本乳癌学会認定・関連施設

単位:万円

病院	Stage別				手術別			
	0	I～II	III	IV	なし	手術あり※	温存	全摘
E6		77	68	68	97	74	87	69
E10					41	68	79	63
E16					108	87	105	72
E22	72	71	46	55	55	69	80	67
E27					32	61	64	57
E34	57	56	10	112	40	81	88	74
E38		95	97	98	257	90	91	80
E40		71		28	46	99	139	72
F1					36	85	85	84
F4					64	106	128	93
F5	60	79	96	9	83	78	95	72
F7	51	57	61	47	51	57	73	52
F8	50	48	47	62	64	58	60	53
F9	113	54	155	73	65	75	79	64
F10					41	62	77	50
F12					51	61	74	57
F16			138	78	95	74	75	63
F17		10		145	37	106	133	78
F18	75	52	43	67	39	75	80	69
F21	58	64	91	206	77	65	96	48
F22		51	66	9	20	66	75	63
F23	58	75	51		53	75	78	65
F25		22	18	106	59	75	85	55
F27					73	73	76	70
F29					73	68	74	55
F30	53	61	81	69	82	64	69	61
F32		70	205		93	67	72	65

※ 温存あるいは全摘

1入院あたりの医療費の分布

日本乳癌学会認定・関連施設以外

単位:万円

病院	Stage別				手術別			
	0	I~II	III	IV	なし	手術あり※	温存	全摘
A1		101			33	101	101	
A5					75	81	78	83
A6					41	94	110	69
B3					52	50	4	62
B5		57	75	20	58	76	90	62
B7					102	67	91	61
B8								
B14	65	55	75	50	74	77	73	82
B17					113	74	83	70
B18					44	65	63	66
B19					66	68	67	70
B21		70			53	78	82	68
B23					53	113	113	
B24					75	85	86	72
C1					114	79	80	78
C3		67		98	88	66	58	67
C5					121			
C7		294		58	65	197	294	101
C11	70	57	45	61	67	71	77	65
C12					86	44		44
C13					126	63	70	54
C14					30			
C15					34	74	79	61
C16		143			106	113	113	
C17		109	45	65	64			
C19					389	104	124	85
C20					67	124	124	
C21					54	76	80	59
C22					185	86	90	68
C23		75			87	86	106	76
C24					40	69	68	77
D1					89	79	79	74
D5					103	95	97	88
D6					81	82	92	67
D17					135	70	73	60
D18					105	110	120	80
D19					64	72	101	60
D20		57			106	85	83	85
D22					51	70	70	
D26		48			44	64	77	57
D28					24	70	70	
D30		64	129	148	51	75	81	64
D35	58	78		36	46	68	68	
D40	70	63	98	70	74	69	74	62
D44					45	73	76	69
E1		76		41	97	81	90	48
E2		35	74		31	48	45	55
E3					76	62	75	52
E5		72	49	92	73	70	52	74
E11	32	46	57		56	47	56	43
E12								
E13					97			
E14					200			
E15					40	84	84	
E17					33	60	49	67
E18					77			
E19					88			
E20					81	170	170	
E23						77	97	56
E24		68		117	61	74	70	80
E25	79	57	24	31	37	84	93	76
E26		69			22	69		69

※ 温存あるいは全摘

1入院あたりの医療費の分布

日本乳癌学会認定・関連施設以外

単位:万円

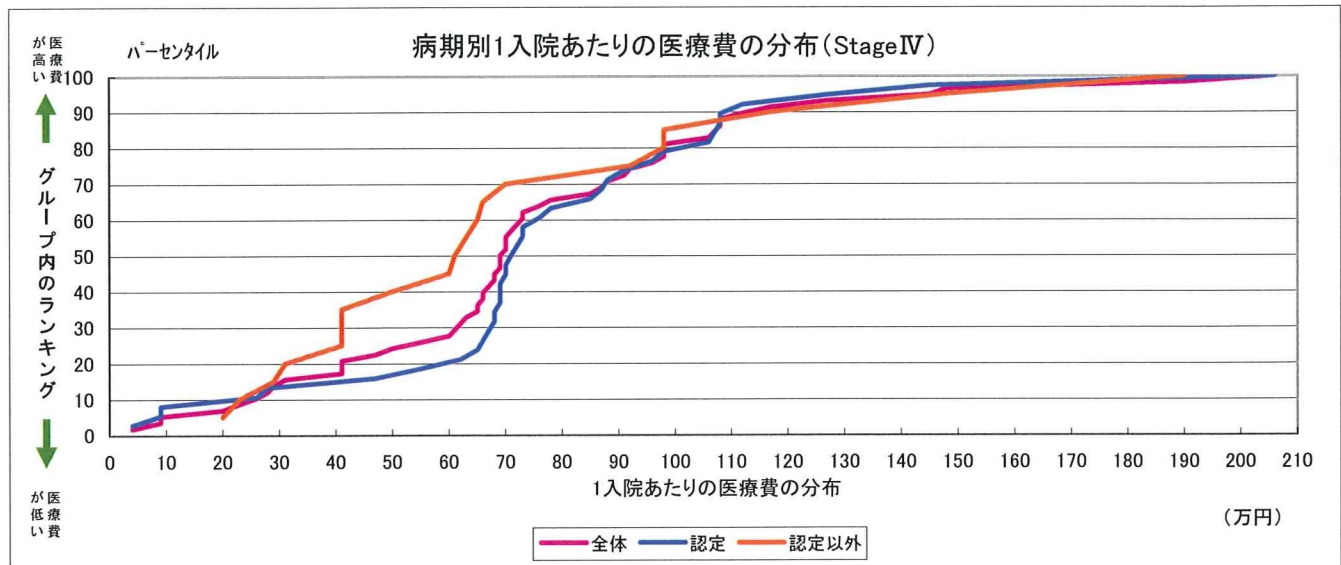
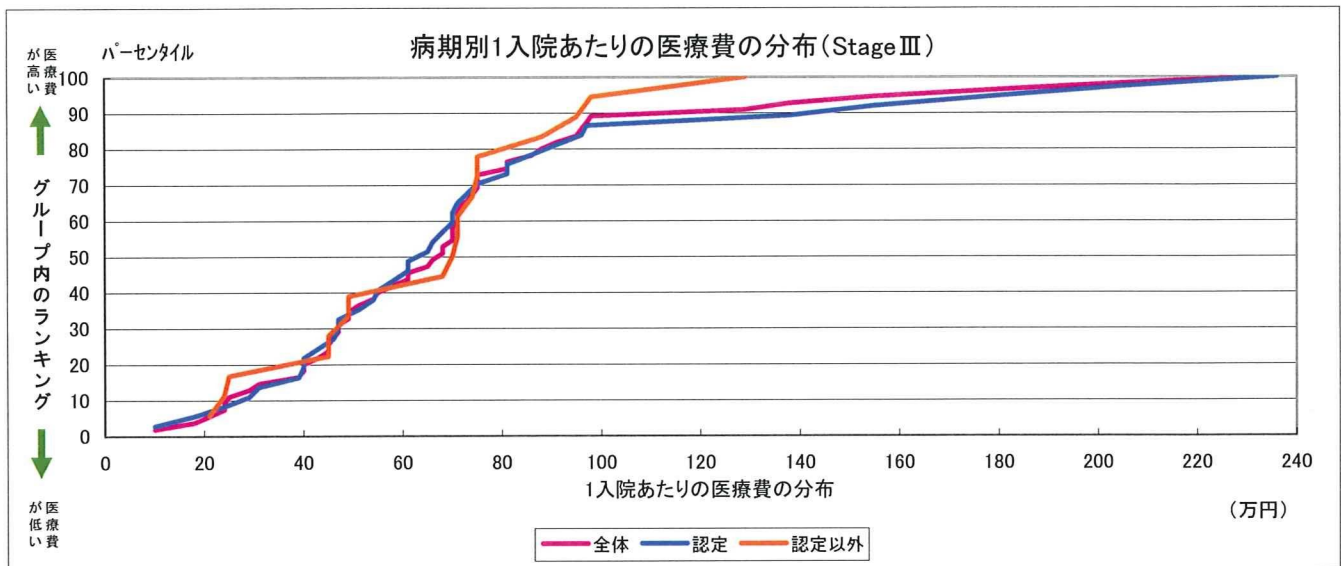
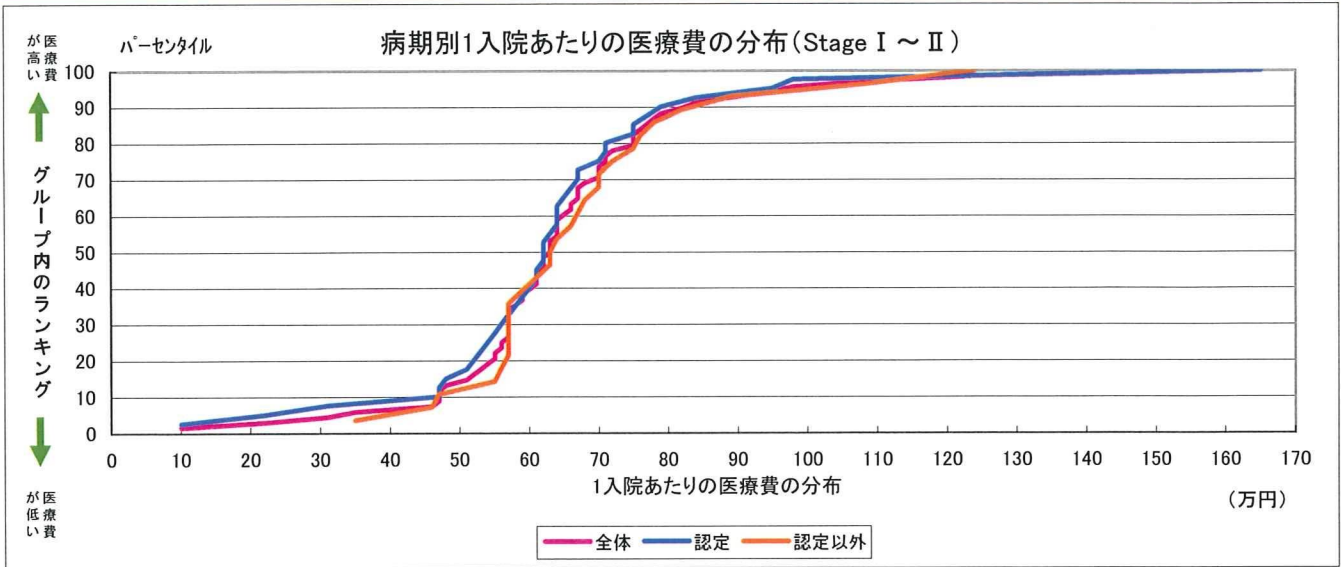
病院	Stage別				手術別			
	0	I～II	III	IV	なし	手術あり※	温存	全摘
E28					54	79	79	
E30					78	128	93	148
E31		80		45	49	123	123	
E32		96			60	93	93	
E33						112	120	95
E35		50	28		65	79	95	56
E36					46	107	114	105
E37		56		23	45	83	87	81
E42	54	66	68	190	97	75	91	63
E43					28			
E44					10			
E45		87			153	75	75	
E46		124			121	77	83	72
F2		78	71		54	83	89	77
F6		70	88		123	82	85	62
F13	89	46	49	60	77	58	81	50
F14	79	82	21	63	60	78	81	72
F15		89	95	41	63	89	89	
F19		47		29	40	55	47	60
F26		57	70	41	46	81	85	73
F28	56	59	71	66	65	65	60	68
F31		63	25	98	64	87	78	105

単位:万円

病院	病期別1入院あたり医療費(中央値)				手術別1入院あたり医療費(中央値)			
	0	I～II	III	IV	なし	手術あり※	温存	全摘
認定施設	65	60	54	60	26	67	63	75
認定以外	70	64	66	45	42	68	63	75

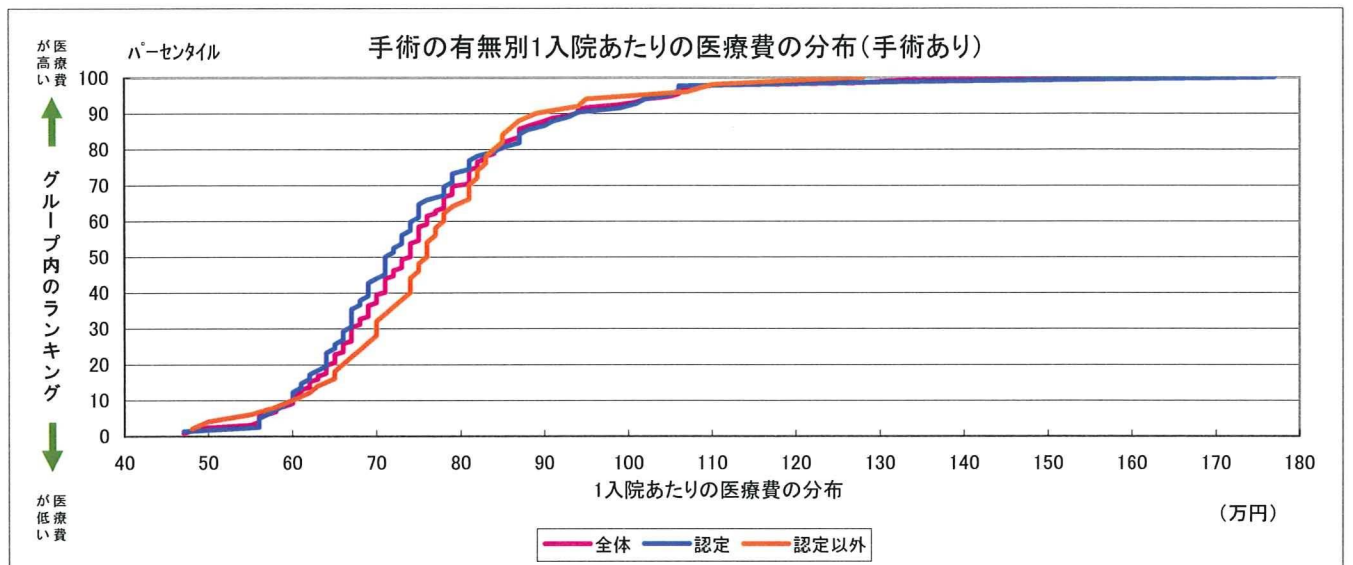
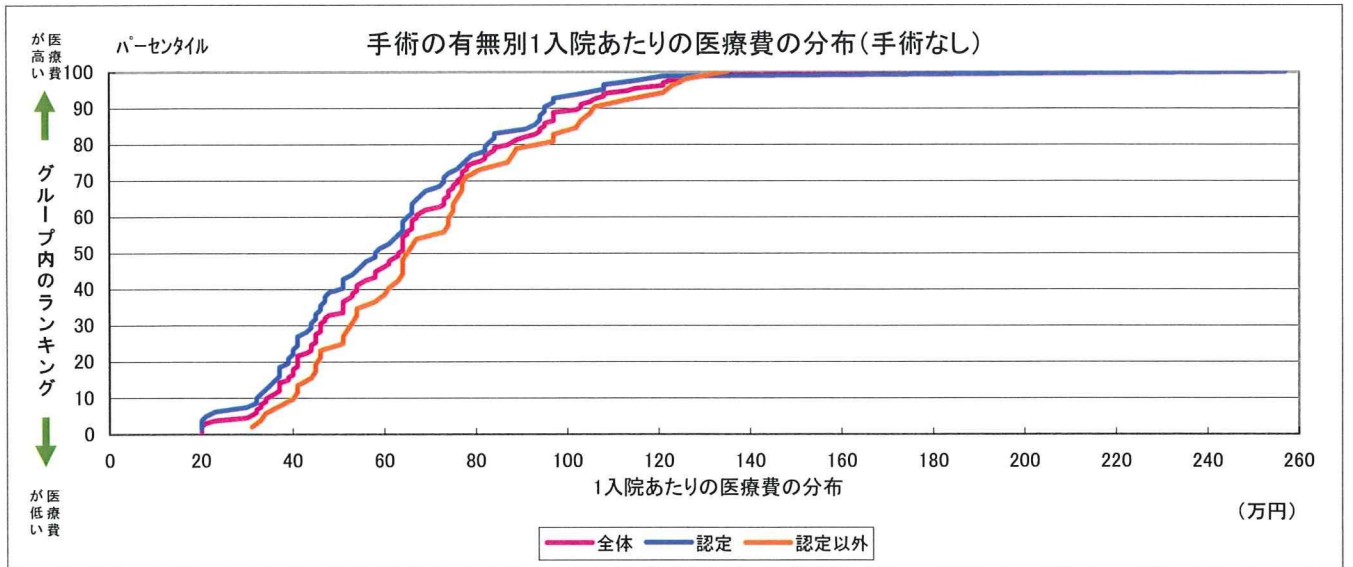
※ 温存あるいは全摘

病期別1入院あたりの医療費の分布



※あなたの病院の具体的な数値は前頁の表でご確認いただき、上記グラフの位置づけをご確認下さい。
 ※解析の対象となった症例数が年間20未満の施設はグラフに表示していません。

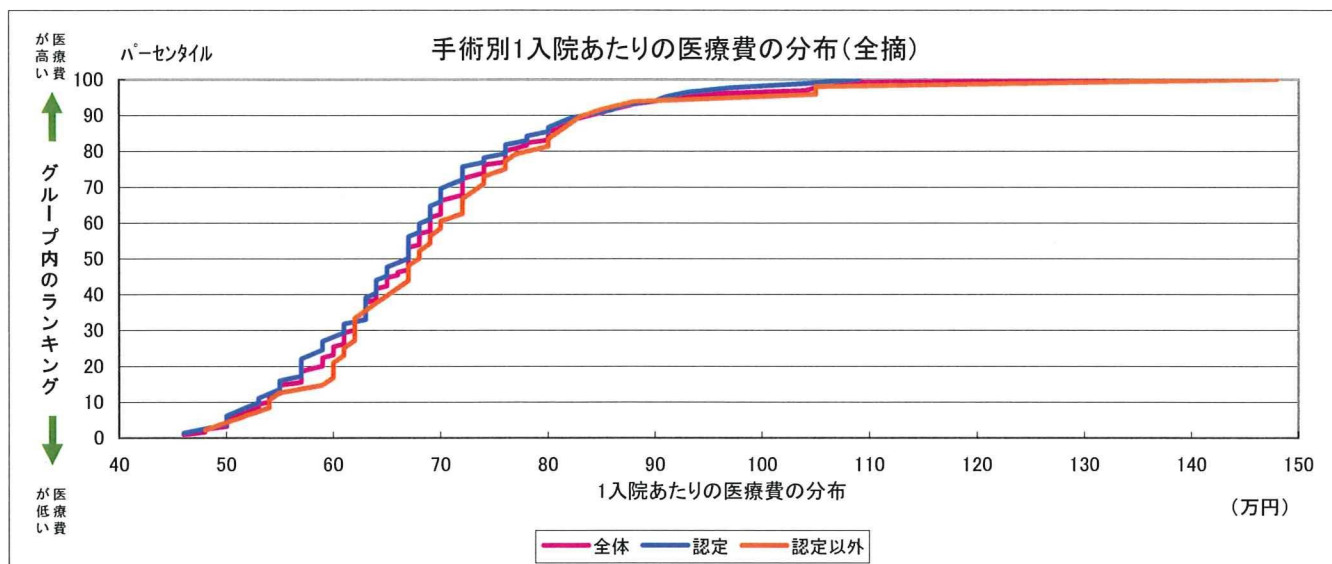
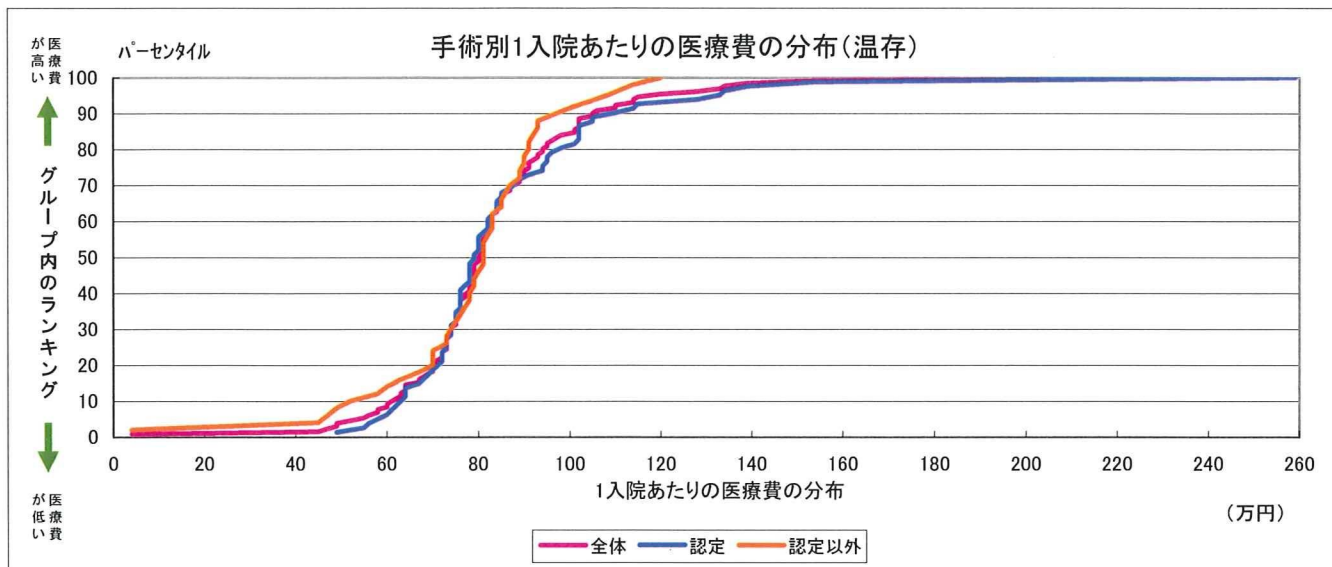
手術の有無別1入院あたりの医療費の分布



※あなたの病院の具体的数値は前頁の表でご確認いただき、上記グラフの位置づけをご確認下さい。

※解析の対象となった症例数が年間20未満の施設はグラフに表示していません。

手術別1入院あたりの医療費の分布



※あなたの病院の具体的な数値は前頁の表でご確認いただき、上記グラフの位置づけをご確認下さい。
 ※解析の対象となった症例数が年間20未満の施設はグラフに表示していません。

5. E・Fファイルを利用した乳ガンの外来治療の解析

・乳房温存術後の補助療法の有用性は大規模な臨床試験などで確認され、最新のレビュー研究などから、高いアウトカムが期待できる補助療法の実施方法に関する方向性が示されつつあります。特に、乳房温存術後8週以内の放射線治療の有効性が総じて報告されています。一方、アンストラサイクリン系あるいはタキサン系の化学療法を行う際には、放射線療法との同時併用を避ける必要性が指摘されています。

・そこで、外来レセプトデータ（E・Fファイル）を術後6ヶ月以上継続して利用可能な施設の症例を対象に、入院時および外来時における補助療法（放射線療法・化学療法）の診療パターンに関する解析を行いました。（データ期間：2006年4月～2009年3月）

・外来データを継続的に蓄積することは、とりわけガンの診療を網羅的に可視化する上で不可欠です。本解析は、レセプトデータ（E・Fファイル）を利用した外来治療の解析のポテンシャルを提示しました。

1. 方法

1.1. 使用データ

【対象病院】・2006年4月1日から2009年3月31日の間にデータを提供いただいた QIP参加病院

【対象症例】・2006年4月1日から2009年3月31日の間に退院した乳房温存術施行症例

・退院後、同一施設において継続して6ヶ月以上の外来データが利用可能な症例

【使用データ】様式1・Eファイル・Fファイル

1.2. 解析対象疾患の抽出方法

「主傷病名」, 「入院の契機となった傷病名」, 「医療資源を最も投入した傷病名」, 「医療資源を2番目に投入した傷病名」, 「入院時併存症1～4」(様式1: ff1401～ff1416) に以下のICD10コードが含まれるレコード

【抽出コード】C50 / D05

1.3. 解析対象手術症例の抽出方法

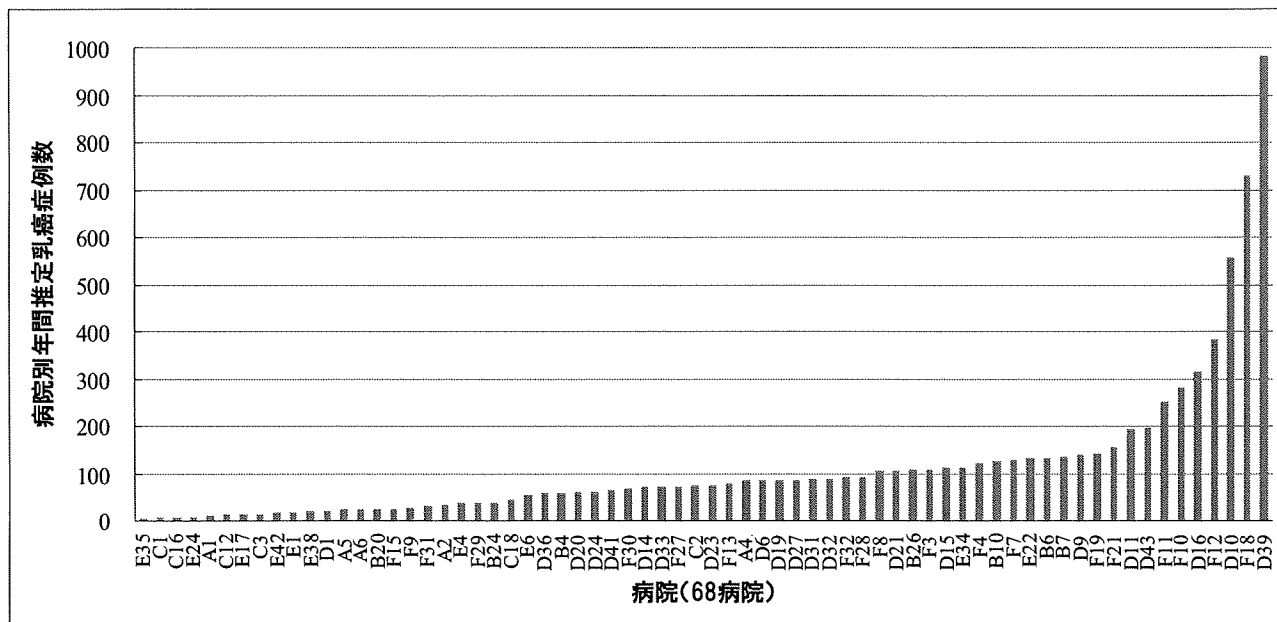
「手術1」～「手術5」(様式1: ff1501～ff1535) に以下のK-codeが含まれるレコード

【乳房温存術の抽出コード】K4762/ K4764

2.1. 結果：病院別症例数

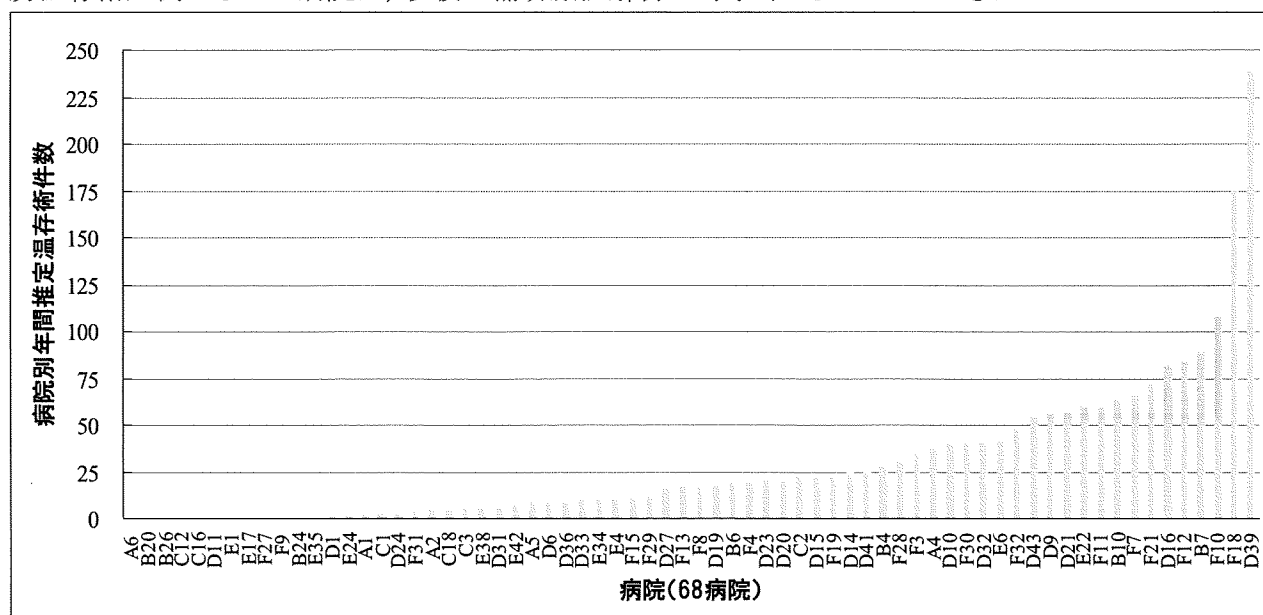
2.1.1. 乳がん症例

1.1.～1.2.を満たす《乳がん症例》は68病院において認められました。参加病院によってデータ提出の提出期間が異なることから、データ提出月数を用いて推定年間症例数を算出し、比較しました。病院別の年間症例数(推定値)の平均値は115症例でした。病院別の年間症例数の分布を以下に示しました。



2.1.2. 乳房温存術の症例数

1.1.～1.3.を満たす《乳房温存術》は58病院において実施されていました。データ提出月数で調整した1病院当たりの推定年間手術件数は30件でした。病院別の年間手術件数の分布を下図に示しています。乳房温存術症例のない10病院は、以後の補助療法解析の対象外とさせていただきます。



2.1. 結果：病院別症例数 《データ》

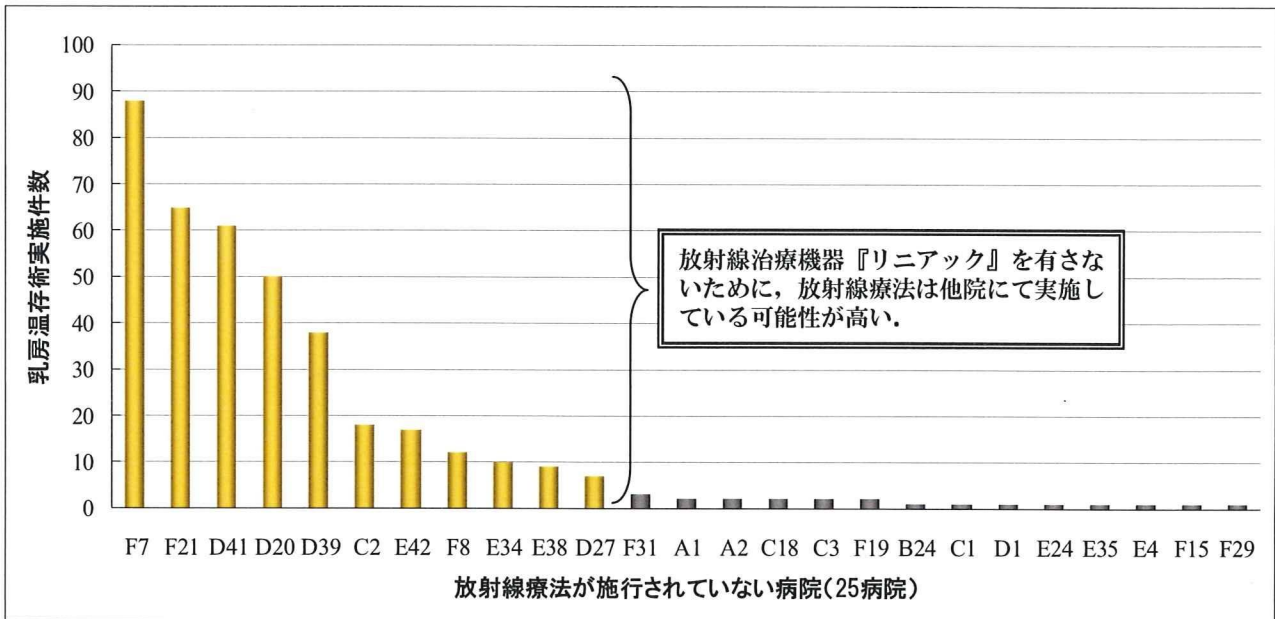
病院ID	2.1.1. 年間 症例数	2.1.2. 年間 温存術件数
A1	9.0	3.0
A2	33.6	4.8
A4	84.0	38.4
A5	24.0	9.0
A6	24.0	0.0
B4	56.6	29.1
B6	133.6	19.2
B7	134.3	89.3
B10	126.0	64.0
B20	24.0	0.0
B24	38.3	0.8
B26	108.0	0.0
C1	6.0	3.0
C2	73.3	24.0
C3	15.0	6.0
C12	12.0	0.0
C16	6.0	0.0
C18	45.6	4.8
D1	20.6	1.7
D6	84.0	9.0
D9	139.4	56.3
D10	554.4	40.8
D11	192.0	0.0
D14	69.6	24.5
D15	112.6	24.0
D16	315.4	82.3
D19	85.9	18.3
D20	59.6	21.4
D21	105.6	57.6
D23	75.0	21.0
D24	60.0	3.4
D27	86.4	16.8
D31	89.1	6.9
D32	89.1	41.1
D33	72.0	12.0
D36	56.4	9.6
D39	984.0	240.0
D41	65.2	25.2
D43	196.5	54.0

病院ID	2.1.1. 年間 症例数	2.1.2. 年間 温存術件数
E1	15.4	0.0
E4	36.0	12.0
E6	54.0	42.0
E17	12.0	0.0
E22	132.0	60.0
E24	7.6	2.2
E34	112.8	12.0
E35	2.3	0.8
E38	20.2	6.3
E42	15.4	8.2
F3	108.0	36.0
F4	122.6	19.3
F7	129.0	66.0
F8	105.0	18.0
F9	26.4	0.0
F10	282.0	108.0
F11	252.0	60.0
F12	384.0	84.0
F13	78.0	18.0
F15	24.0	12.0
F18	729.3	175.4
F19	144.0	24.0
F21	157.1	72.0
F27	72.0	0.0
F28	92.1	31.7
F29	36.0	12.0
F30	67.2	40.8
F31	32.0	4.0
F32	90.0	48.0

2.2. 結果：術後放射線療法の実施状況

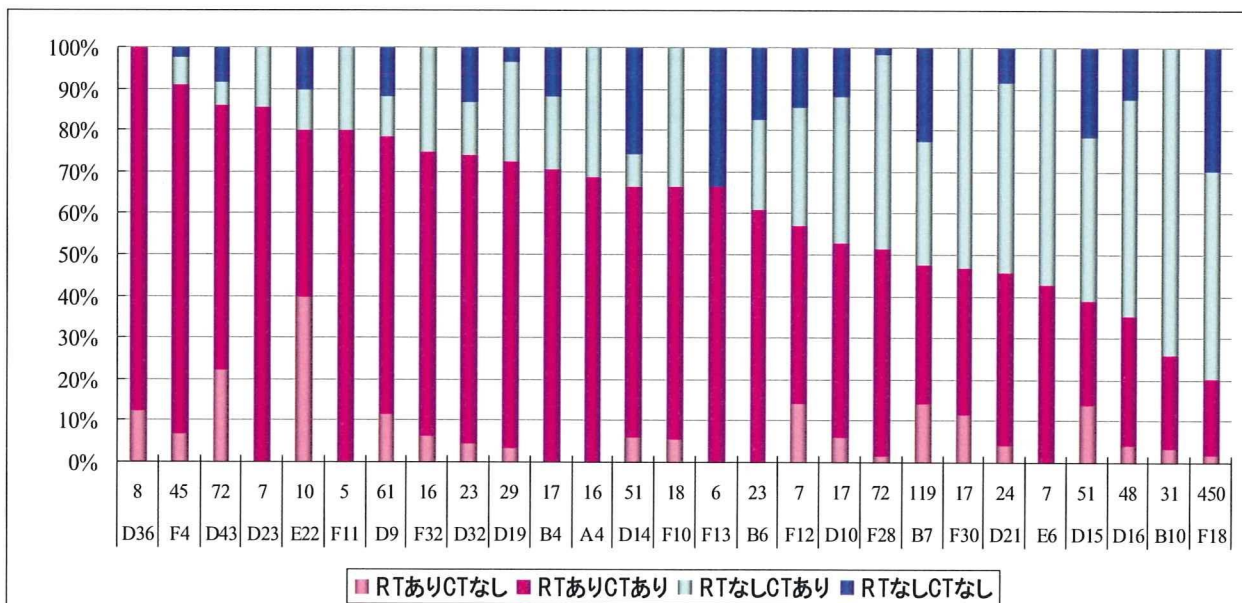
2.2.1. 放射線療法の実行症例

温存術後の放射線療法の実施割合が0%であるのは解析対象58病院中、25病院ありました。



2.2.2. 術後放射線療法の実施割合

放射線療法の実行病院(25病院)を除き、さらに解析対象症例数が5件に満たない6病院を除いた、27病院について補助療法の実施状況を図示しました。術後放射線治療を5例以上実施した病院は、23病院(グラフ2.3参照)でした。



※RT:放射線療法, CT:化学療法

※X軸の数値は、解析対象症例数を示しています。

2.2. 結果：術後放射線療法の実施状況《データ》

病院ID	症例数
A1	2
A2	2
B24	1
C1	1
C2	18
C3	2
C18	2
D1	1
D20	50
D27	7
D39	38
D41	61
E24	1
E34	10
E35	1
E38	9
E4	1
F7	88
F8	12
F15	1
F19	2
F21	65
F29	1
F31	3
E42	17

病院ID	RTあり CTなし	RTあり CTあり	RTなし CTあり	RTなし CTなし
A4	0%	69%	31%	0%
B4	0%	71%	18%	12%
B6	0%	61%	22%	17%
B7	14%	34%	29%	23%
B10	3%	23%	74%	0%
D9	11%	67%	10%	11%
D10	6%	47%	35%	12%
D14	6%	61%	8%	25%
D15	14%	25%	39%	22%
D16	4%	31%	52%	13%
D19	3%	69%	24%	3%
D21	4%	42%	46%	8%
D23	0%	86%	14%	0%
D32	4%	70%	13%	13%
D36	13%	88%	0%	0%
D43	22%	64%	6%	8%
E6	0%	43%	57%	0%
E22	40%	40%	10%	10%
F4	7%	84%	7%	2%
F10	6%	61%	33%	0%
F11	0%	80%	20%	0%
F12	14%	43%	29%	14%
F13	0%	67%	0%	33%
F18	2%	18%	50%	30%
F28	1%	50%	47%	1%
F30	12%	35%	53%	0%
F32	6%	69%	25%	0%

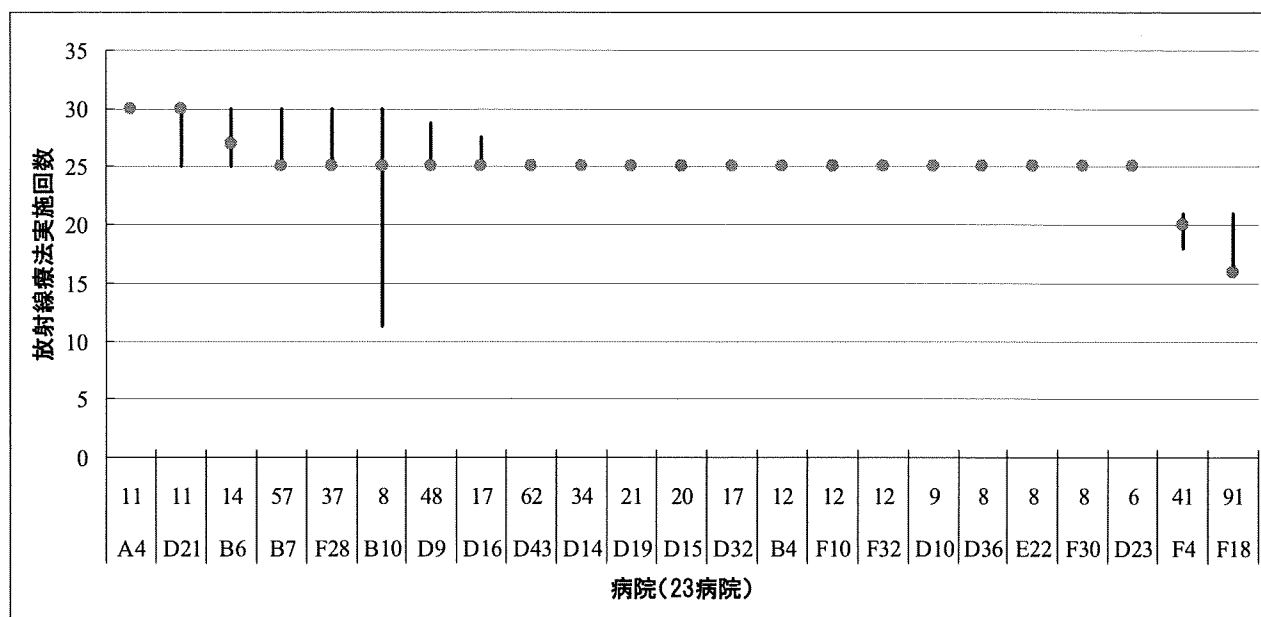
※RT:放射線療法, CT:化学療法

2.3. 結果：術後放射線療法の治療期間

2.3. 放射線療法の治療期間

術後放射線療法の実施症例数が5例以上含まれる23病院を解析対象にしました。

大多数の18病院において、放射線療法の実施回数を25回に設定していました。しかし、同一病院内で11回から30回まで症例間でバラツキが認められる病院や、放射線療法の実施回数を主に20回以下に設定している病院も認められました。



※X軸の数値は、解析対象症例数を示しています。

● 放射線療法実施回数の50パーセンタイル値

┆ 放射線療法実施回数の75パーセンタイル値および25パーセンタイル値

2.3. 結果：術後放射線療法の治療期間《データ》

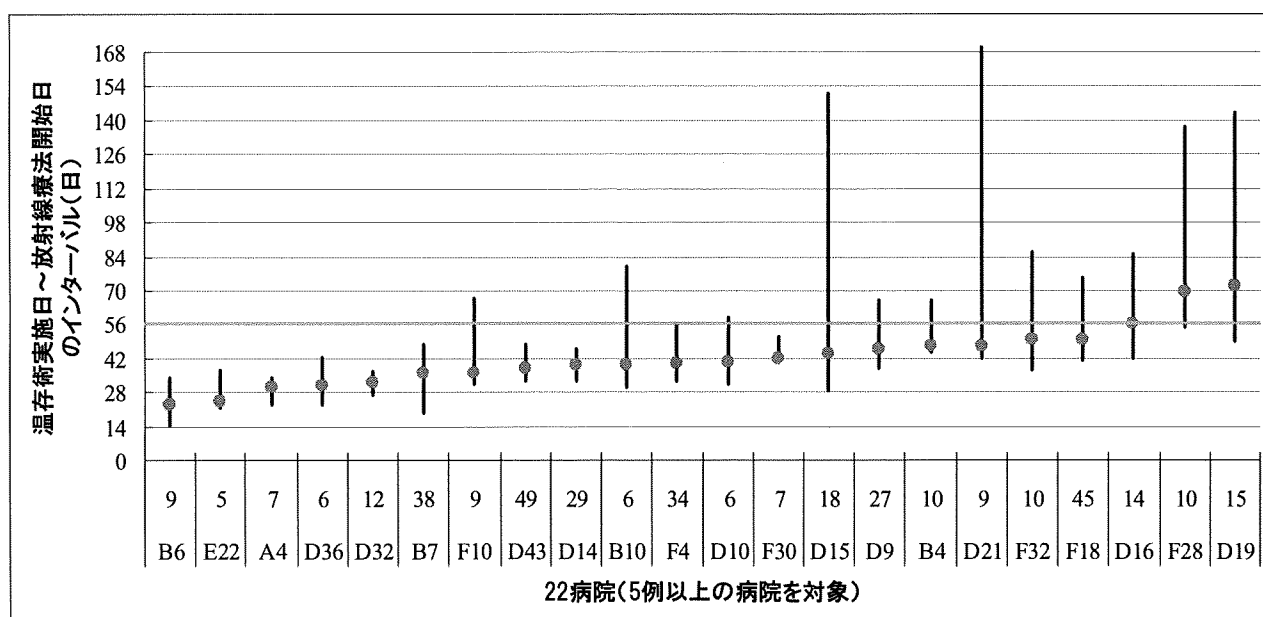
2.3. 放射線療法の治療期間(単位:日)			
病院ID	25 パーセントイル	50 パーセントイル	75 パーセントイル
A4	30	30	30
B4	25	25	25
B6	25	27	30
B7	25	25	30
B10	11.25	25	30
D9	25	25	28.75
D10	25	25	25
D14	25	25	25
D15	25	25	25
D16	25	25	27.5
D19	25	25	25
D21	25	30	30
D23	25	25	25
D32	25	25	25
D36	25	25	25
D43	25	25	25
E22	25	25	25
F4	18	20	21
F10	25	25	25
F18	16	16	21
F28	25	25	30
F30	25	25	25
F32	25	25	25

2.4. 結果：術後放射線療法の開始時期

2.4.1. 放射線療法の開始期間 (アンストラサイクリン系・タキサン系なし)

アンストラサイクリン系やタキサン系の化学療法を投与されておらず、かつ、術後放射線療法の実施症例数が5例以上含まれる22病院を解析対象にしました。

これまでの先行研究の成果から(参考文献1)、放射線療法は乳房温存術後8週以内に実施することを望ましいと考える臨床医・研究者が多いです。22病院の術後放射線療法の実施時期を以下に示しましたが、多くの病院において8週以内に治療を開始していることがわかりました。しかし、症例によって大きなバラツキが認められる病院や8週以内の治療開始を達成できていない病院も認められました。



※X軸の数値は、解析対象症例数を示しています。

● 放射線療法実施回数の50パーセントイル値

┆ 放射線療法実施回数の75パーセントイル値および25パーセントイル値

【参考文献1】

Huang J, Barbera L, Brouwers M, *et al.* Does delay in starting treatment affect the outcomes of radiotherapy
J Clin Oncol 2003; 21:555-563.

2.4. 結果：術後放射線療法の開始時期 《データ》

2.4.1. 放射線療法の開始期間(単位:日) (アンストラサイクリン系・タキサン系なし)			
病院ID	25 パーセンタイル	50 パーセンタイル	75 パーセンタイル
A4	23	30	34
B4	44.5	47	65.75
B6	14.5	23	34
B7	19.5	36	47.5
B10	29.75	39	79.75
D9	38	46	66
D10	31.5	40.5	58.75
D14	33	39	46
D15	28.5	44	150.75
D16	41.75	56.5	84.75
D19	49	72	143
D21	42	47	190.5
D32	26.5	32	36.75
D36	22.75	30.5	42.25
D43	33	38	48
E22	21.5	24	37
F4	33	40	56.25
F10	31.5	36	67
F18	41	50	75
F28	55	69.5	137
F30	42	42	51
F32	37.25	49.5	85.75

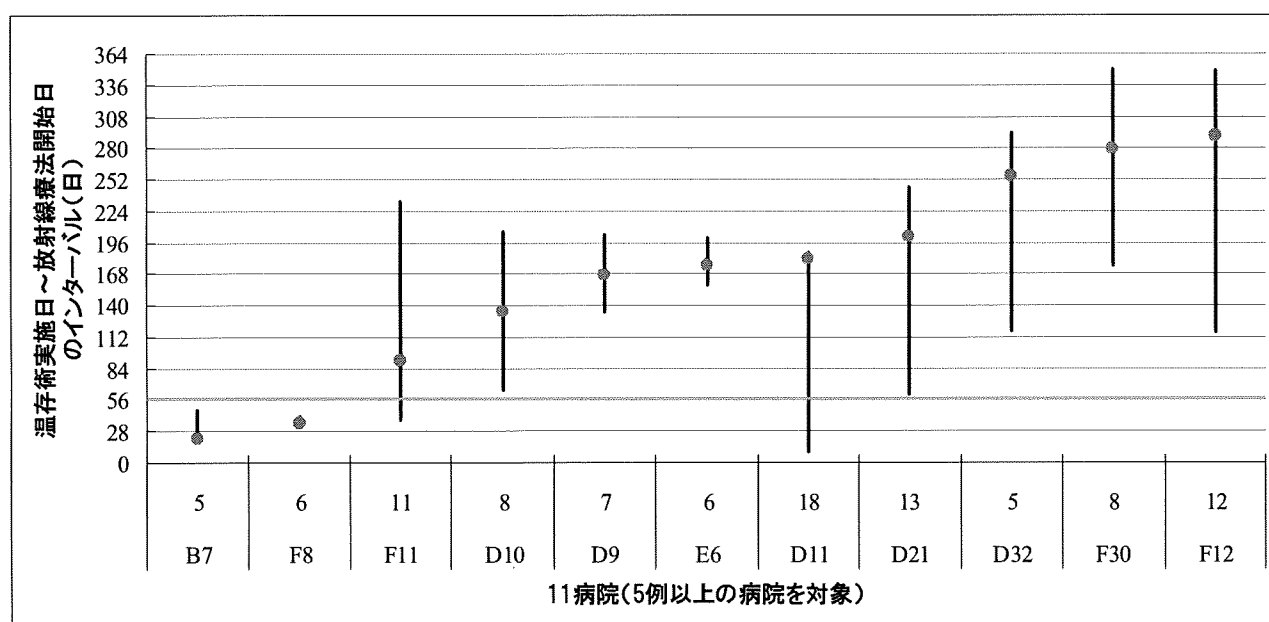
2.4. 結果：術後放射線療法の開始時期

2.4.2. 放射線療法の開始期間 (アンストラサイクリン系・タキサン系あり)

アンストラサイクリン系またはタキサン系の化学療法が投与されており、かつ、術後放射線療法の実施症例数が5例以上含まれる11病院を解析対象にしました。

両薬剤を含む化学療法と放射線療法の同時併用は、重篤な有害事象を惹起するリスクを有します。下図のように、多くの施設において術後放射線療法の開始時期が大幅に遅れていました。なお、本解析対象になった症例では、放射線療法と両薬剤を同時併用する症例はほとんど認められませんでした。

術後8週以内に放射線療法を開始している2病院は、術前化学療法や放射線療法後の化学療法を行うことによって、放射線療法を早期に実施していました。



※X軸の数値は、解析対象症例数を示しています。

● 放射線療法実施回数の50パーセントイル値

┆ 放射線療法実施回数の75パーセントイル値および25パーセントイル値